

Q 38 高校2年を終えた段階で大学に入学できるようになったそうですが、本当なのでしょうか？

A 本当です。ただし、次のような条件があります。

まず、学生の条件としては、数学又は物理が特に優れていて、高校を卒業した者と同等以上の学力があるということです。

次に、受け入れる大学の条件としては、数学又は物理学に関する専攻を置く大学院研究科の博士課程があり、このような学生を育成するのにふさわしい教育研究上の実績及び指導体制を持っているということです。

いわゆる「飛び入学」の趣旨は一人一人の能力に応じた教育を展開する観点から、特定の分野において特に優秀なごく少数の者に対し、大学において高度で専門的な指導を受けることによって、その才能の一層の伸長を期待するものです。

千葉大学では「先進科学プログラム」と題し平成10年から工学部で学生を受け入れ、平成10年は3名が入学しました。また平成11年からは理学部においても募集を行い、3名の学生が入学しました。

このプログラムを修了した者は将来研究者として先端的な貢献を行うことが期待されているため、カリキュラムについても独自のものが用意されています。一般の入学者と同じ教室で授業を受けることが基本ですが、基礎的な物理・数学の授業の単位数を多くするほか、「先進科学セミナー」と呼ばれる個別指導の時間が設けられています。そこでは、物理・数学に関する専門性を深く追求するためのセミナーとともに、文系セミナーと称して人文・社会科学系のテーマを設定したセミナーが開講されるなど全人格的な成長にも十分に配慮されたプログラムとなっています。

先進科学セミナーとはどんなもの？

ここでは先進科学プログラムで最も特徴のある先進科学セミナーのうち1年次の内容をご紹介します。

●オムニバス形式のセミナー

学内・学外の先生による広い領域にわたる自然科学の読み切りの話題紹介と、いろいろな研究施設の見学会を催します。

例えば、平成11年度には、宇宙ステーションにおける科学研究、最近の半導体の進歩、計算機シミュレーション等の講義が学外の先生方によって行われます。

●物理数学セミナー

基礎的な数学を復習してから、物理に役立つ数学をじっくり学びます。

●物理セミナー

物理の基本を十分に復習してから、物理の重要な課題をじっくり学びます。

(これら3つのセミナーには元気な理学部生および工学部生も参加しています。)

●文系セミナー

皆さんが関心を持つテーマについて話し合いながら数人の先生が分担しています。

例えば、平成11年度は、4人の先生がそれぞれ「小説を読む」、「民法をゆっくり読む」、「論文の書き方」、「とにかく議論をしてみよう」などのテーマでセミナーを行っています。

